町立幼稚園・町内保育施設

令和8年度 入園・入所申込書類の配布を開始します

保育所等

「令和8年度与那原町保育所等入所案内」の配布を開始します。令和8年度（令和8年4月～）からの町内保育施設への入所を希望される場合は、必ずこの資料のご確認をお願いします。

配布開始日▶10月10日（金）
配 布 場 所▶子育て支援課窓口（2階）
日　　時▶月曜日～金曜日（土・日・祝日を除く）
8:30～17:00（12:00～13:00を除く）
申請書受付期間▶11月4日（火）～12月10日（水）
8:30～17:00（12:00～13:00を除く）

※詳細は10月10日（金）より配布の「令和8年度与那原町保育所等入所案内」をご確認ください

町立幼稚園

令和8年度（令和8年4月～）の町立幼稚園入園を希望する方に「令和8年度与那原町立幼稚園募集案内」の配布を開始します。入園を希望される場合は、必ずこの資料のご確認をお願いします。

配布開始日▶10月10日（金）
配 布 場 所▶子育て支援課窓口（2階）
日　　時▶月曜日～金曜日（土・日・祝日を除く）
8:30～17:00（12:00～13:00を除く）
申請書受付期間▶10月20日（月）～10月31日（金）
8:30～17:00（12:00～13:00を除く）

対象幼児

5歳児クラス▶令和２年4月2日～令和３年4月1日生まれ
4歳児クラス▶令和３年4月2日～令和４年4月1日生まれ
3歳児クラス▶令和４年4月2日～令和５年4月1日生まれ

注意事項
※町立幼稚園では預かり保育を実施していません。
※詳細は、10月10日（金）より配布の「令和8年度与那原町立幼稚園募集案内」をご確認ください。

ホームページからも資料をダウンロードすることができます

お問い合わせ　子育て支援課　945-6520

驛舎通信⑬

1本の線路で安全運行する方法

沖縄県鉄道は那覇から各地に線路を延ばしていますが、「単線（たんせん）」といって、1本の線路で運用していました。

単線は敷設コストが低い一方で、双方向の通行をどうするのか、という問題が生じます。たとえば那覇から与那原へ向かう列車と同時に与那原からも列車を出すと、途中で正面衝突してしまいます。では、列車が折り返して帰ってくるのを待ってから次を出すのはどうでしょうか。短距離ならまだしも、約23キロある嘉手納線では行って帰ってくるまで時間がかかりすぎてしまいます。それまで線路を使えないのも不便ですね。

そこで一部の駅に複数の線路を用意し、列車が行き違いできる機能を持たせます。そして双方の列車がちょうどその駅で行き違うようなダイヤを設定し、その通りに運行することで衝突を避けていました。時間を守るのは安全のためでもあるのです。与那原線では国場駅にその機能がありました。当時の時刻表をみても国場駅発の時間が上り下りで1分差になっていることがわかります。とはいえ、それだけでは人為的ミスが生じる可能性もあります。そこで駅には場内信号機が設置され、運転士は駅で受け取る通行証のようなもの（通票／通券）を携帯することで区間ごとに進入する列車を制限（票券式）するなど、幾重もの対策で安全を確保していました。なお、これらは世界的に採用された保安システムで、「軽便（簡易）」とはいえ、しっかりと安全対策された鉄道だったことがわかります。

単線の線路を走る嘉手納線の列車
（『図説沖縄の鉄道』より）

喜納　大作
きなだいさく／軽便与那原駅舎展示資料館学芸業務担当（株式会社ＹＵＫＡＺＥ所属。沖縄国際大学南島文化研究所特別研究員

お問い合わせ
軽便与那原駅舎展示資料館
835-8888
与那原町与那原3148-1
■開館時間／10:00～18:00
■休 館 日／火曜
URL：yonabaruekisha.com/

町史編纂室より　戦後のあゆみ⑦ 町民の視点に基づく町史の編集事業

『与那原町史』は町民の視点に基づいて編集されています。その方法について説明します。

『資料編 戦後の与那原』の発刊にあたって、2012年から2015年に、町民の方々から聞き取り調査や写真・文書の調査を実施しました。また、『図説編 与那原 自然』や『図説編 与那原 民俗・芸能』、『図説編 戦後のあゆみ』も、町民の方々の写真や体験談などに基づいて、編集をしています。

この作業で得られた情報を紹介します。2枚の写真は、馬天にあった中央倉庫と、親川にあった販売店の写真（小牧清子氏提供 与那原町教育委員会所蔵）です。聞き取り調査によると、配給所は、現在の親川管理棟という建物のある場所に1946（昭和21）年に設置されました。中央倉庫で分配された食料品（カリフォルニア米・タイ米・メリケン粉・粉末の玉子・缶詰など）は、与那原などの各配給所に運搬されて、与那原の人々に配られました。配給所は1949（昭和24）年に廃止されましたが、その後、この建物は食料品などを扱う与那原販売店として再出発しました。

このように、町民の方々からの、写真のご提供や聞き取り調査によって編集をしています。調査などへのご協力のほど、よろしくお願いいたします。（文責：川島淳）

写真①　馬天にあった中央倉庫の写真。写真には、与那原の配給所などに勤務した方々が撮影されています。

写真②　配給所が廃止された後に与那原販売店となった。壁には、米軍が物資の集積所とした際に用いたミーフガー鉄板が柱に代わって補強されている様子が確認できます。

お問い合わせ　生涯学習振興課　871-9981（町史編纂係）